

令和6年度 第8次沖縄県医療計画 (新興感染症発生・まん延時における医療) の進捗評価

令和7年8月
保健医療介護部 地域保健課

令和6年度の進捗評価結果

総合評価の判定方法

A: 強化すべき

B: 維持すべき

C: 検討を続けるべき

D: 中止を検討すべき

E: 中止すべき

目指す姿	分野アウトカム	中間アウトカム（6施策）	個別施策（12）	総合評価
新興感染症発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指す。	新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた新興感染症に対応する医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図る。	1. 病床確保	新興感染症発生時からの対応	B.維持
			流行初期の対応	B.維持
			一定期間経過後の対応	B.維持
			特に配慮が必要な患者を受け入れる医療機関の確保	B.維持
		2. 発熱外来	発熱外来に対応する医療措置協定の締結	B.維持
			流行初期医療確保措置による医療機関の確保	B.維持
		3. 自宅療養者等への医療の提供	居宅等で療養する新興感染症患者への医療提供に対応する医療協定の締結	B.維持
			高齢者施設等への医療提供体制の確認	B.維持
		4. 後方支援	新興感染症患者以外の患者に対し医療を提供する体制の整備	B.維持
		5. 医療人材派遣	医療人材派遣を行う医療措置協定の締結	A.強化すべき
		6. 入院調整、臨時の医療施設及び入院待機施設の設置及び運営の対応を想定した平時における取組	入院調整体制の構築	B.維持
			臨時の医療施設及び入院待機施設の設置及び運営の流れの確認	A.強化すべき

1. 病床確保（新興感染症患者を入院させ、必要な医療を提供する体制の整備）

ロジックモデル

番号		C 個別施策				
		指標項目	基準年	直近	結果	目標
(新感C-101)新興感染症発生時からの対応（感染症指定医療機関）						
新感P-301(指標⑥)	第一種感染症指定医療機関及び第二種感染症指定医療機関の指定数	-	R6年度			R11年度
		一種 2 機関 二種 6 機関	一種 2 機関 二種 6 機関	→	一種 2 機関 二種 6 機関	
(新感C-102)流行初期の対応（流行初期医療確保措置医療機関等）						
新感P-302(指標⑦)	流行初期医療確保措置の対象となる協定締結医療機関（入院）数	-	R6年度			R11年度
		-	17機関	-	27機関	
(新感C-103)一定期間経過後の対応（医療措置協定指定医療機関）						
新感P-303(指標⑧)	病床確保を行う各協定締結医療機関数	-	R6年度			R11年度
		-	46機関	-	36機関	
(新感C-104)特に配慮が必要な患者を受け入れる医療機関の確保						
新感P-304(指標⑨)	特に配慮が必要な患者の病床を確保する医療機関数	-	R6年度			R11年度
		-	27機関	-	16機関	

番号		B 中間アウトカム				
		指標項目	基準年	直近	結果	目標
(新感B-101)新興感染症を入院させ、必要な医療を提供する体制の整備（病床確保）						
新感O-201(指標②)	流行初期医療確保措置医療機関の確保可能病床数	-	R6年度			R11年度
		-	563床	-	437床	
		-	R6年度			R11年度
		-	790床	-	987床	
新感O-202(指標③)	各協定締結医療機関（入院）の確保病床数	-	R6年度			R11年度
		-	790床	-	987床	
新感O-203(指標④)	各協定締結医療機関（入院）の重症者病床数	-	R6年度			R11年度
		-	59床	-	72床	
新感O-204(指標⑤)	特に配慮が必要な患者の病床数	-	R6年度			R11年度
		-	263床	-	308床	

番号		A 分野アウトカム				
		指標項目	基準年	直近	結果	目標
(新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた新興感染症に対応する医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。						
新感O-101(指標①)	中間アウトカム達成率	-	R6年度			R11年度
		不明		-	100	

(結果の表記法)

青： 改善

赤： 後退

黒： 横ばい

黒： 指標評価なし

結果は、基準年と直近との比較

注）指標②：流行初期（発生公表後3か月まで） 指標③：流行初期以降（発生公表後6か月まで） 指標⑦：知事の要請日から起算して7日以内に実施

	個別施策	中間アウトカム
現状・課題等	- 病院の建替えや人員不足等の理由により「流行初期医療確保措置の対象となる病床数の基準」を満たさない総合病院が複数ある。（新感C-102） - 特に配慮が必要な患者については、医療機関数は目標値に達しているが（新感C-104）、病床数が目標未達の状態となっている。	- 各協定締結医療機関（入院）の確保病床数（新感O-202）及び重症者病床数（新感O-203）については、総合病院の病床確保数がコロナ禍と比べ少ないため、さらなる病床確保が必要である。 - 特に配慮が必要な患者の病床数（新感O-204）については、精神疾患を有する患者が目標に対し6割程度、認知症患者対応可能病床が目標に対し3割程度となっている。
今後の対応	総合病院との協議の検討を行いながら、流行初期医療確保措置対象となる新たな医療機関の確保に取り組む。	- 総合病院（県立・民間・大学）等との協議を継続し病床確保に取り組む。 - 精神疾患を有する患者及び認知症患者対応可能病床を中心に病床確保に取り組む。

個別施策

(新感C-101) 新興感染症発生時からの対応 (感染症指定医療機関)

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7今年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	・感染症指定医療機関の指定 ・感染症指定医療機関運営補助事業	・第一種感染症指定医療機関及び第二種感染症指定医療機関の指定を行う ・医療体制の構築を図るため、運営費補助を行う	—	県 医療機関	地域保健課	19,000	32,000	・第一種感染症指定医療機関として2医療機関、第二種感染症指定医療機関として6医療機関の指定を行っている。 ・第一種及び第二種感染症指定医療機関に運営費補助を行い、円滑な医療提供体制の確保を図ることができた。

効果

初期アウトカム

指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感P-301(指標⑥)	第一種感染症指定医療機関及び第二種感染症指定医療機関の指定数	-			R6年度	→
		一種 2機関	一種 2機関	一種 2機関	一種 2機関	
		二種 6機関	二種 6機関	二種 6機関	二種 6機関	

中間アウトカム

指標項目	基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感O-201(指標②) 流行初期医療確保措置医療機関の確保可能病床数	-			R6年度	→
	-	-	-	563床	
新感O-202(指標③) 各協定締結医療機関(入院)の確保病床数	-			R6年度	
	-	-	-	790床	
新感O-203(指標④) 各協定締結医療機関(入院)の重症者病床数	-			R6年度	→
	-	-	-	59床	
新感O-204(指標⑤) 特に配慮が必要な患者の病床数	-			R6年度	→
	-	-	-	263床	

評価

評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
整合性（セオリー）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
		分野・中間アウトカムの指標は適切か			
		分野・中間アウトカム⇔施策のつながりが強い			
実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	・上記の取り組み予算額とおり。	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
		施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング	・予定どおり実施した。	
		アウトプットが生まれているか	アウトプット指標		
		施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング		
効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果しかないため、向上したか判断できない。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
		アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値	・直近の指標結果をみると、アウトカム指標の各協定締結医療機関（入院）重傷者病床数を除くと、アウトプット指標値とアウトカム指標値ともに目標値を達成している。	
		外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	引き続き、施策を取り組んでいく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

個別施策	(新感C-102) 流行初期の対応 (流行初期医療確保措置医療機関等)						
------	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7今年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	医療措置協定の締結	医療措置協定の締結に向けて各医療機関と調整を行う	令和5年度～	県 医療機関	地域保健課	—	—	17機関

効果	初期アウトカム						中間アウトカム					
	指標項目						指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
	新感P-302(指標⑦)						新感O-201(指標②)	流行初期医療確保措置医療機関の確保可能病床数	—	—	R6年度 563床	—
	新感P-302(指標⑦)						新感O-202(指標③)	各協定締結医療機関（入院）の確保病床数	—	—	R6年度 790床	—
	新感P-302(指標⑦)						新感O-203(指標④)	各協定締結医療機関（入院）の重症者病床数	—	—	R6年度 59床	—
	新感P-302(指標⑦)						新感O-204(指標⑤)	特に配慮が必要な患者の病床数	—	—	R6年度 263床	—

評価

評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
整合性（セオリー）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
		分野・中間アウトカムの指標は適切か			
		分野・中間アウトカム⇄施策のつながりが強い			
実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	—	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
		施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング	・令和6年度（初年度）から実績値が目標値の約6割達成されているため、順調に実施がなされている。	
		アウトプットが生まれているか	アウトプット指標		
		施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング		
効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果しかないため、向上したか判断できない。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
		アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値	・直近の指標結果をみると、中間アウトカム指標では、各協定締結医療機関（入院）重傷者病床数を除き目標値を達成している。	
		外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	医療措置協定の締結	医療措置協定の締結に向けて各医療機関と調整を行う	令和5年度～	県 医療機関	地域保健課	—	—	46機関

効果

初期アウトカム						
指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感P-303(指標⑧)	病床確保を行う各協定締結医療機関数	-			R6年度	
		-	-	-	46機関	—

中間アウトカム		指標項目	基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感O-201(指標②)	流行初期医療確保措置医療機関の確保可能病床数	-			R6年度		
		-	-	-	563床	—	
新感O-202(指標③)	各協定締結医療機関(入院)の確保病床数	-			R6年度		
		-	-	-	790床	—	
新感O-203(指標④)	各協定締結医療機関(入院)の重症者病床数	-			R6年度		
		-	-	-	59床	—	
新感O-204(指標⑤)	特に配慮が必要な患者の病床数	-			R6年度		
		-	-	-	263床	—	

評価

評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
整合性（セオリー）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和５年度の第８次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
		分野・中間アウトカムの指標は適切か			
		分野・中間アウトカム⇄施策のつながりが強い			
実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	—	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
		施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		
		アウトプットが生まれているか	アウトプット指標		
		施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング		
効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果しかないため、向上したか判断できない。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
		アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値	・直近の指標結果をみると、アウトカム指標の各協定締結医療機関（入院）重傷者病床数を除くと、アウトプット指標値とアウトカム指標値ともに目標値を達成している。	
		外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記３評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和６年度の実績しかなく、一概に評価するのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

個別施策

(新感C-104) 特に配慮が必要な患者を受け入れる医療機関の確保

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7今年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	医療措置協定の締結	医療措置協定の締結に向けて各医療機関と調整を行う	令和5年度～	県 医療機関	地域保健課	—	—	27機関

効果	初期アウトカム					中間アウトカム					
						指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
						新感O-201(指標②)	流行初期医療確保措置医療機関の確保可能病床数	-	-	R6年度 563床	—
						新感O-202(指標③)	各協定締結医療機関（入院）の確保病床数	-	-	R6年度 790床	—
						新感O-203(指標④)	各協定締結医療機関（入院）の重症者病床数	-	-	R6年度 59床	—
						新感O-204(指標⑤)	特に配慮が必要な患者の病床数	-	-	R6年度 263床	—

評価

評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
整合性（セオリー）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
		分野・中間アウトカムの指標は適切か			
		分野・中間アウトカム⇄施策のつながりが強いのか			
実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	— ・令和6年度の実績値が目標値を達成しており、予定どおり実施がなされている。	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
		施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		
		アウトプットが生まれているか	アウトプット指標		
		施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング		
効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果しかないため、向上したか判断できない。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
		アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値	・直近の指標結果をみると、アウトカム指標の各協定締結医療機関（入院）重傷者病床数を除くと、アウトプット指標値とアウトカム指標値ともに目標値を達成している。	
		外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価するのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

2. 発熱外来（新興感染症の疑似症患者等の診療を行う体制の整備）

ロジックモデル

C 個別施策						B 中間アウトカム						A 分野アウトカム					
番号						番号						番号					
指標項目		基準年	直近	結果	目標	指標項目		基準年	直近	結果	目標	指標項目		基準年	直近	結果	目標
(新感C-201)発熱外来に対応する医療措置協定の締結						(新感B-201)新興感染症の疑似症患者等の診療を行う体制の整備（発熱外来）						(新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた新興感染症に対応する医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。					
新感P-305(指標⑪)	発熱外来を行う協定締結医療機関数	-	R6年度		R11年度	新感O-205(指標⑩)	一日当たりの対応人数	-	R6年度		R11年度	新感O-101(指標①)	中間アウトカム達成率	-	R6年度		R11年度
		-	231機関	-	281機関			-	5,148人	-	4,167人			不明		-	100
(新感C-202)流行初期医療確保措置による医療機関の確保																	
新感P-305(指標⑫)	流行初期医療確保措置の対象となる協定締結医療機関（発熱外来）数	-	R6年度		R11年度												
		-	178機関	-	166機関												

注）指標⑪：流行初期以降（発生公表後6か月まで） 指標⑫：流行初期（発生公表後3か月まで）

	個別施策	中間アウトカム
現状・課題等	発熱外来を行う協定締結医療機関数については、診療所における協定締結医療機関数が目標値に対し8割程度のため、締結に向けたさらなる取り組みが必要である。（新感C-201）	発熱外来の体制の整備については、一日あたりの対応人数の実績値が目標を達成しているが（新感B-201）、個別施策の発熱外来を行う協定締結医療機関数が目標に達していない。
今後の対応	医師会と連携しながら、発熱外来が設置可能な医療機関との協定締結に取り組む。	協定締結医療機関の確保に取り組む。

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	医療措置協定の締結	医療措置協定の締結に向けて各医療機関と調整を行う	令和5年度～	県医療機関	地域保健課	—	—	231機関

効果

初期アウトカム							中間アウトカム						
指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果	指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感P-305(指標⑪)	発熱外来を行う協定締結医療機関数	-			R6年度	—	新感O-205(指標⑩)	一日当たりの対応人数	-			R6年度	—
		-	-	-	231機関				-	-	-	5,148人	

評価	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
	整合性（セオリー）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
			分野・中間アウトカムの指標は適切か			
			分野・中間アウトカム⇄施策のつながりが強い			
	実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	・令和6年度（初年度）から実績値が目標値の約8割達成されているため、順調に実施がなされている。	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
			施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		
			アウトプットが生まれているか	アウトプット指標		
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング		
	効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果をみると、アウトプット指標値及びアウトカム指標値ともに目標値を達成している。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
			アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値		
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
	総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	医療措置協定の締結	医療措置協定の締結に向けて各医療機関と調整を行う	令和5年度～	県 医療機関	地域保健課	—	—	178機関

効果

初期アウトカム							中間アウトカム						
指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果	指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感P-305(指標⑫)	流行初期医療確保措置の対象となる協定締結医療機関(発熱外来)数	-			R6年度	—	新感O-205(指標⑩)	一日当たりの対応人数	-			R6年度	—
		-	-	-	178機関				-	-	-	5,148人	

評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
整合性（セオリー）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
		分野・中間アウトカムの指標は適切か			
		分野・中間アウトカム⇄施策のつながりが強い			
実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	—	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
		施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		
		アウトプットが生まれているか	アウトプット指標		
		施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング		
効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果をみると、アウトプット指標値及びアウトカム指標値ともに目標値を達成している。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
		アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値		
		外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

3. 自宅療養者等への医療の提供（居宅又は高齢者施設等で療養する新興感染症患者に対し医療を提供する体制の整備）

ロジックモデル

C 個別施策						B 中間アウトカム						A 分野アウトカム					
番号						番号						番号					
指標項目		基準年	直近	結果	目標	指標項目		基準年	直近	結果	目標	指標項目		基準年	直近	結果	目標
(新感C-301)居宅等で療養する新興感染症患者への医療提供に対応する医療協定の締結						(新感B-301)居宅又は高齢者施設等で療養する新興新興感染症患者に対し医療を提供する体制の整備（自宅療養者等への医療の提供）						(新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた新興感染症に対応する医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。					
新感P-306(指標⑮)	協定締結医療機関（自宅療養者等への医療の提供）数	－	R6年度		R11年度	新感O-206(指標⑬)	往診対応が可能な医療機関数	－	R6年度		R11年度	新感O-101(指標①)	中間アウトカム達成率	－	R6年度		R11年度
		－	493機関	－	305機関			－	350機関	－	213機関			不明		－	100
(新感C-302)高齢者施設等への医療提供体制の確認						新感O-207(指標⑭)	電話・オンライン診療が可能な医療機関数	－	R6年度		R11年度						
新感P-307(指標⑯)	高齢者施設への医療提供が可能な協定締結医療機関数	－	R6年度		R11年度			－	425機関	－	227機関						
		－	417機関	－	218機関												
新感P-308(指標⑰)	障害者施設への医療提供が可能な協定締結医療機関数	－	R6年度		R11年度												
		－	351機関	－	143機関												

	個別施策	中間アウトカム
現状・課題等	居宅等での療養（新感C-301）及び高齢者施設等（新感C-302）ともに目標は達成した。	自宅療養者等への医療提供体制の整備については、目標は達成した。（新感B-301）
今後の対応	協定締結医療機関と連携し、体制を維持していく。	協定締結医療機関と連携し、体制を維持していく。

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7今年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	医療措置協定の締結	医療措置協定の締結に向けて各医療機関と調整を行う	令和5年度～	県 医療機関	地域保健課	—	—	493機関

効果

初期アウトカム

指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感P-306(指標⑮)	協定締結医療機関(自宅療養者等への医療の提供)数	-			R6年度	—
		-	-	-	493機関	

中間アウトカム

指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感O-206(指標⑬)	往診対応が可能な医療機関数	-			R6年度	—
		-	-	-	350機関	
新感O-207(指標⑭)	電話・オンライン診療が可能な医療機関数	-			R6年度	—
		-	-	-	425機関	

評価	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
	整合性（セオリー）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
			分野・中間アウトカムの指標は適切か			
			分野・中間アウトカム⇄施策のつながりが強い			
	実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	・令和6年度の実績値が目標値を達成しており、予定どおり実施がなされている。	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
			施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		
			アウトプットが生まれているか	アウトプット指標		
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング		
	効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果をみると、アウトプット指標値及びアウトカム指標値ともに目標値を達成している。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
			アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値		
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
	総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	医療措置協定の締結	医療措置協定の締結に向けて各医療機関と調整を行う	令和5年度～	県 医療機関	地域保健課	—	—	高齢者施設対象:417機関 障害者施設対象:351機関

効果	初期アウトカム						中間アウトカム					
	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
	新感P-307(指標⑯)	高齢者施設への医療提供が可能な協定締結医療機関数	—	—	—	R6年度 417機関	新感O-206(指標⑬)	往診対応が可能な医療機関数	—	—	—	R6年度 350機関
	新感P-308(指標⑰)	障害者施設への医療提供が可能な協定締結医療機関数	—	—	—	R6年度 351機関	新感O-207(指標⑭)	電話・オンライン診療が可能な医療機関数	—	—	—	R6年度 425機関

評価	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
	整合性（セオリ）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
			分野・中間アウトカムの指標は適切か			
			分野・中間アウトカム⇄施策のつながりが強いのか			
	実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	—	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
			施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		
			アウトプットが生まれているか	アウトプット指標		
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング		
	効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果をみると、アウトプット指標値及びアウトカム指標値ともに目標値を達成している。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
			アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値		
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
	総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

4. 後方支援（新興感染症患者以外の患者に対し医療を提供する体制の整備）

ロジックモデル

C 個別施策						B 中間アウトカム						A 分野アウトカム					
番号						番号						番号					
	指標項目	基準年	直近	結果	目標		指標項目	基準年	直近	結果	目標		指標項目	基準年	直近	結果	目標
(新感C-401)新興感染症患者以外の患者に対し医療を提供する体制の整備（後方支援）						(新感B-401)新興感染症患者以外の患者に対し医療を提供する体制の整備（後方支援）						(新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた新興感染症に対応する医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。					
新感P-309(指標⑱)	後方支援を行う協定締結医療機関数	－	R6年度		R11年度	新感O-208(指標⑱)	流行初期における後方支援を行う協定締結医療機関数	－	R6年度		R11年度	新感O-101(指標①)	中間アウトカム達成率	－	R6年度		R11年度
		－	47機関	－	36機関			－	45機関	－	36機関			不明		－	100

	個別施策	中間アウトカム
現状・課題等	医療協定締結の協議が円滑に進み、目標を達成した。（新感C-401）	医療協定締結の協議が円滑に進み、目標を達成した。（新感B-401）
今後の対応	後方支援を行う協定締結医療機関と連携し、体制を維持していく。	後方支援を行う協定締結医療機関と連携し、体制を維持していく。

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	医療措置協定の締結	医療措置協定の締結に向けて各医療機関と調整を行う	令和5年度～	県医療機関	地域保健課	—	—	47機関

効果

初期アウトカム							中間アウトカム						
指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果	指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感P-309(指標⑬)	後方支援を行う協定締結医療機関数	-			R6年度		新感O-208(指標⑭)	流行初期における後方支援を行う協定締結医療機関数	-			R6年度	
		-	-	-	47機関	—			-	-	-	45機関	—

評価	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
	整合性（セオリー）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
			分野・中間アウトカムの指標は適切か			
			分野・中間アウトカム⇄施策のつながりが強い			
	実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	—	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
			施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		
			アウトプットが生まれているか	アウトプット指標		
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング		
	効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果をみると、アウトプット指標値及びアウトカム指標値ともに目標値を達成している。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
			アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値		
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
	総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

5. 医療人材派遣（新興感染症に対応する医療従事者を確保し、医療機関その他の機関に派遣する体制の整備）

ロジックモデル

C 個別施策						B 中間アウトカム						A 分野アウトカム					
番号	指標項目	基準年	直近	結果	目標	番号	指標項目	基準年	直近	結果	目標	番号	指標項目	基準年	直近	結果	目標
(新感C-501)医療人材派遣を行う医療措置協定の締結						(新感B-501)新興感染症に対応する医療従事者を確保し、医療機関その他の機関に派遣する体制の整備（医療人材派遣）						(新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた新興感染症に対応する医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。					
新感P-310(指標②)	医療人材派遣を行う医療措置協定締結医療機関数	-	R6年度		R11年度	新感O-209(指標②)	医療人材派遣可能人数	-	R6年度		R11年度	新感O-101(指標①)	中間アウトカム達成率	-	R6年度		R11年度
		-	31機関	-	24機関			-	155人	-	106人			不明		-	100

	個別施策	中間アウトカム
現状・課題等	医療機関数としては目標を達成しているが、派遣可能な人材を職種別にみると、看護師やロジ（事務職）は目標を達成していたが、医師については目標の8割であることから、医師確保の取り組みが必要。（新感C-501）	医療機関数としては目標を達成しているが、派遣可能な人材を職種別にみると、看護師やロジ（事務職）は目標の人数を達成していたが、医師については目標の8割であることから、医師確保の取り組みが必要である。（新感B-501）
今後の対応	医師会と連携し感染症対応可能な人材確保に取り組む。	医師会と連携し感染症対応可能な人材確保に取り組む。

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	医療措置協定の締結 目標①	医療措置協定の締結に向けて各医療機関と調整を行う	令和5年度～	県 医療機関	地域保健課	—	—	31機関

効果

初期アウトカム							中間アウトカム						
指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果	指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感P-310(指標①)	医療人材派遣を行う医療措置	-			R6年度		新感O-209(指標②)	医療人材派遣可能人数	-			R6年度	
	協定締結医療機関数	-	-	-	31機関	—			-	-	-	155人	—

評価	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
	整合性（セオリー）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
			分野・中間アウトカムの指標は適切か			
			分野・中間アウトカム⇄施策のつながりが強い			
	実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	—	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
			施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		
			アウトプットが生まれているか	アウトプット指標		
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング		
	効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果をみると、アウトプット指標値及びアウトカム指標値ともに目標値を達成している。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
			アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値		
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
	総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・医療機関数としては目標を達成しているが、派遣可能な人材を職種別にみると、医師の実績が目標の8割となっていることから、さらなる医療人材の確保に取り組んでいく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

6. 入院調整、臨時の医療施設及び入院待機施設の設置及び運営の対応を想定した平時における取組

ロジックモデル

C 個別施策						B 中間アウトカム						A 分野アウトカム														
番号	指標項目				基準年	直近	結果	目標	番号	指標項目				基準年	直近	結果	目標	番号	指標項目				基準年	直近	結果	目標
(新感C-601)入院調整体制の構築						(新感B-601)入院調整、臨時の医療施設及び入院待機施設の設置及び運営の確認						(新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた新興感染症に対応する医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。														
新感P-311(指標②③)	沖縄県感染症対策連携協議会の開催回数				-	R6年度	-	R11年度	新感O-210(指標②)	入院調整マニュアルの整備・点検見直し				-	R6年度	-	R11年度	新感O-101(指標①)	中間アウトカム達成率				-	R6年度	-	R11年度
					-	1	-	1						-	0	-	1						不明		-	100
(新感C-602)臨時の医療施設及び入院待機施設の設置及び運営の流れの確認																										
新感P-312(指標②④)	設置運営マニュアル等の整備・点検見直し				-	R6年度	-	R11年度																		
					-	0	-	1																		

	個別施策	中間アウトカム
現状・課題等	設置運営マニュアル等の整備・点検見直しについては、医療措置協定締結を優先的に行ったため、情報収集にとどまった。（新感P-602）	医療措置協定締結を優先的に行っているため、未着手となっている。（新感B-602）
今後の対応	- 新興感染症等の発生に備え、引き続き、毎年、協議会を開催し、関係機関と連携して医療体制の確保と構築に向けた取り組みを継続していく。 - 新型コロナの対応を参考としながら、設置運営マニュアル等の整備に取り組んでいく必要がある。	入院調整マニュアル等の整備に取り組んでいく必要がある。

個別施策

(新感C-601) 入院調整体制の構築

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7今年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	新型インフルエンザ等体制整備事業	沖縄県感染症対策連携協議会の開催	毎年度	県	地域保健課	150,801円	641,000円	1回開催(令和7年3月)

効果

初期アウトカム							中間アウトカム						
指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果	指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感P-311(指標⑳)	沖縄県感染症対策連携協議会の開催回数	-			R6年度		新感O-210(指標㉔)	入院調整マニュアルの整備・点検見直し	-			R6年度	
		-	-	-	1	—			-	-	-	0	—

評価	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
	整合性（セオリー）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
			分野・中間アウトカムの指標は適切か			
			分野・中間アウトカム⇄施策のつながりが強い			
	実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	・取り組み記載の決算額のとおり必要な財源を確保できた。	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
			施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング	・予定どおり施策が実施された。	
			アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	・令和6年度でみると、予定どおりであった。	
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング	・予定どおり協議会が開催が行われた。	
	効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果しかないため、向上したか判断できない。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
			アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値	・令和6年度の結果だけしかないので、ただちに、アウトプットの指標値とアウトカム指標値の関係を判断するのは困難である。	
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング	・協議会を通じて、関係機関と連携して取り組みを継続していく必要がある。	
	総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

個別施策	(新感C-602) 臨時の医療施設及び入院待機施設の設置及び運営の流れの確認
------	--

取組	事業（取組）名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	実績・成果（アウトプット）
	—	設置運営マニュアル等の整備・点検見直しを行う	毎年度	県	地域保健課	—	—	コロナ感染症対応時の資料等の情報収集を行った。

効果

初期アウトカム							中間アウトカム						
指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果	指標項目		基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	結果
新感P-312(指標④)	設置運営マニュアル等の整備・点検見直し	-			R6年度		新感O-210(指標②)	入院調整マニュアルの整備・点検見直し	-			R6年度	
		-	-	-	0	-			-	-	0	-	

評価	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
	整合性（セオリー）評価	ロジックモデルの左右のつながりに、論理的整合性があるか	分野・中間アウトカムは適切か	・他府県ロジックモデルとの比較 ・協議会・部会での審議	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏まて設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない
			分野・中間アウトカムの指標は適切か			
			分野・中間アウトカム⇄施策のつながりが強い			
	実行（プロセス）評価	決めたことをきちんとやっているか	資源は用意されたか	予算（決算）書	—	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
			施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング	・医療措置協定締結を優先的に行ったため、情報収集にとどまった。	
			アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	—	
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング	—	
	効果（インパクト）評価	やったことが効いているのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果が0のため、判断できない。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
			アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプットの指標値		
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング	・医療措置協定締結を優先的に行ったため、情報収集にとどまった。	
	総合評価	この施策をやり続けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりではあるが、指標結果が0となっているため、取り組みを強化して進めていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき